



# 実川たかし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 航空機の落下物対策

# 洋上脚下げの指導徹底を要望

# PCB処理は住民の不安解消を!



本会議場で空港問題などを質問をする実川隆県議

山武郡選挙区から、地域の代表として県議会へ活躍の舞台を飛躍させた実川隆(じつかわ・たかし)県議は、昨年12月の本会議場の登壇に続いて、6月県議会でも一般質問に立ち、地域の諸課題を取り上げ、県執行部へ地域の声を届けました。この中で実川県議は、PCB廃棄物処理の試験研究に対し、地元横芝光町で不安の声が高まっていることから、県の基本的な考え方を厳しく追及しました。また、成田空港の騒音対策や飛行落下物対策で、県として地域住民の立場に立った対応を求め、30万回の合意に至った住民の思いに報いるよう、きちんとした生活環境対策の実現を要望しました。

山武郡 特集

6月県議会一般質問

実川議員 今回、PCB廃棄物処理の試験研究が行なわれる私の地元、横芝光町宮川地区では住民の不安や心配が大変高まっており、1万5千人を超える試験研究反対の陳情書が県に提出されています。周辺住民の生活環境や暮らしに直接関わることで、生活への不安と住民の負うリスクも大変大きいと考えられます。

そこで、伺います。横芝光町での微量PCB廃棄物に関する試験研究について、反対運動が起っています。県はどのような審査で承認したのか。

健康福祉部長 産業廃棄物を使用した試験研究については、国からの通知で①学術研究や処理技術の考案などに係るものであること②使用する施設が生活環境保全上、支障のないこと③不正な産業廃棄物の処理を目的としたものでないこと④などの要件に該当するか否かで判断することとされています。

横芝光町における微量PCBの試験研究については、昨年6月に事業者から試験研究の計画書が提出されました。これを受け、環境の専門家の意見を踏まえ、試

験研究に当たっては、PCB汚染物の漏えいまたは飛散の防止に十分注意することなどを条件に、国からの通知に基づき、昨年12月に試験研究に該当すると判断したところです。

実川議員 今後、事業者が微量PCB廃棄物の処理業を行なおうとする場合、県はどのように対応するの

健康福祉部長 事業者か  
**深夜・早朝の制限緩和慎重に**  
実川議員 成田空港や周辺地域の活性化に、LCC(ローコストキャリア)就航への期待が高まっています。が、空港建設当初から遵守されてきた、深夜・早朝時間帯の運用制限を緩和することについては、私は、騒音下に住む一人として、慎重を期すべきだと考えています。深夜・早朝時間帯の運用制限の緩和について、県はどう考えるのか。

総合企画部長 県経済団体などから、成田空港を拠点とするLCC就航に合わせ、現在の深夜・早朝時間帯の運用制限を緩和すべきとの意見があることは承知しています。

一方、この運用制限は、騒音下で生活する地域住民の生活環境保全の観点か

ら、処理業としての申請がされた場合は、地元の横芝光町の意見を伺うとともに、環境各分野の専門家の意見を踏まえ、地域の環境保全の観点に立って対応します。

実川議員 廃棄物の処理業の申請があった場合、県としても地元の意向を踏まえ、地域住民の生活環境に十分配慮した対応をしていただきたい。

これを緩和する場合は、地域住民の生活環境保全と成田空港の今後の運用のあり方など、まさに共存共栄の観点から、関係者間で慎重かつ十分に協議し、地元理解を得た上で進めるべきものと考えています。

**落下物で要望**  
5月下旬、空港南側から着陸する航空機に対して、ルール化されている洋上での脚下げの遵守率が、2年連続で低下したとの一部報道がありました。近年、空港南側での落下

●県政と山武郡に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

実川たかし 県議事務所  
〒289-1732 山武郡横芝光町横芝515  
TEL.0479-82-2688 FAX.0479-82-2799

物の件数が少なくなってきたようですが、これは洋上脚下げによる効果だと私は考えています。飛行機の脚下げに伴って発生すると思われる落下物事案は、飛行コース直下の住民に大きな不安を与えるものです。

国においては、脚下げを実施しなかった飛行機について、航空会社に事情説明を求め、その徹底を指導しているとは聞いていますが、県においても引き続きその遵守が図られるよう、国に対して働きかけていきたい。

地域の声を県政へ

◆山武郡特集

実川たかし 県議

# 津波浸水予測図で県へ要望!

## 避難場所増設の補助要請も

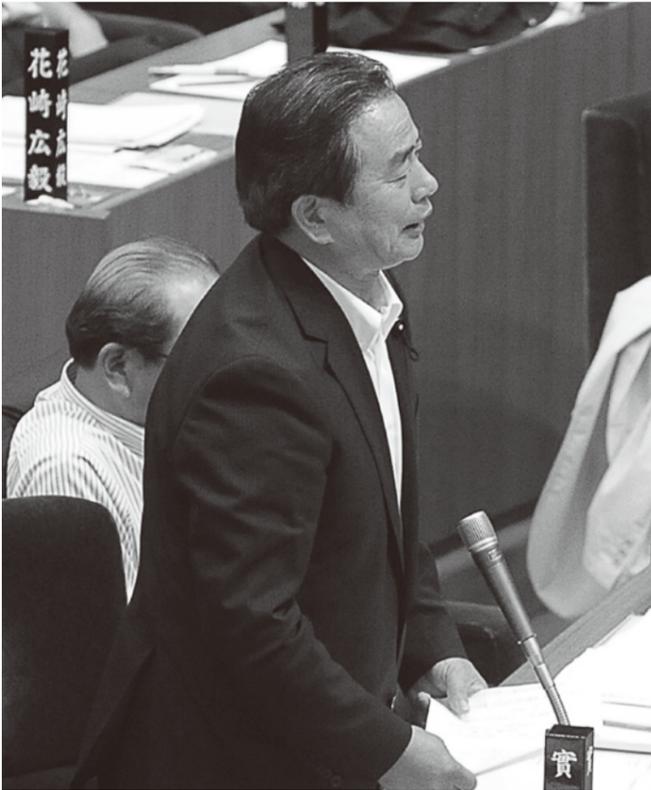
### 津波対策

実川議員 今回発表された「津波浸水予測図」を見ると、一見すれば、自宅周辺における津波による浸水状況予測がすぐに分かるように作られています。津波警報ごとに、最大でどこまで浸水するか、たどころに分かるようなもので、分かりやすさという点では一定の評価をしてもよいのではないかと思えます。しかし、合

分後、市町村において、分かりやすい「津波ハザードマップ」や実効性のある「津波避難計画」を整備できるように、津波浸水予測図関連のデータを提供することにも、今回の大震災の教訓を踏まえ、現行の「津波避難計画策定指針」を修正するなどの支援をまいります。

また、国も津波避難やハザードマップ作成のマニュアルの見直しを進めており、合わせてこれらの情報も市町村に対して提供してまいります。

### 6月県議会一般質問から



県議会の自席から再質問する実川県議

**要望** 市町村において、津波対策として学校の屋上に、より高い避難場所を増築するなどのかさ上げを実施した場合の補助について、早急な実現は難しいと認識していますが、今後、国へ支援を働きかけるよう要望します。

### 要援護者対策

実川議員 災害時要援護者等への対策を早急に講じる必要があると思うが、県の考え方はどうか。

防災危機管理部長 県では、高齢者・障害者などの災害時要援護者や女性について、それぞれの特性に配慮した避難方法や避難所での対応等を示した「災害時要援護者避難支援の手引き」及び「災害時における避難所運営の手引き」を作成し、市町村に周知を図ってきたところです。

しかしながら、今回の大震災では、必ずしも要援護者や女性に対し、十分な配慮がなされませんでした。そこで、今後、市町村と連携し、このたび公表した地域防災計画修正(案)に盛り込んだ、災害時要援護者や女性に配慮した備蓄や支援体制づくりなど、さまざまな対策を進めてまいります。

## 海岸保安林整備を最優先に!

実川議員 私 は、県民の生命・財産を守るという観点から、津波対策として、海岸県有保安林の砂丘のかさ上げなどを最優先で行い、津波に対する県民の不安を早く解消することが重要だと考えます。また、砂丘のかさ上げなどには、多くの盛り土用の土砂が必要ですが、その確保も重要です。

そこで伺います。九十九里地区の海岸県有保安林の整備状況はどうか。また、今後はどのように整備していくのか。

農林水産部長 九十九里地区の海岸線66キロメートルのうち、約37キロにわたって海岸県有保安林を整備してきましたが、今回の大震災による津波で大きな被害を受けたことから、災害に強い保安林の再生のため、本年5月に「千葉県海岸県有保安林整備指針」を策定し、計画的な整備に取り組むこととしました。

具体的には、津波対策として、砂丘のかさ上げや広葉樹の導入、盛り土などにより減災効果の高い森林の造成を進めることとしており、平成24年度は、津波被害地等の復旧を中心に、砂丘造成650メートル、植栽16ヘクタールの整備に取り組んでいるところです。

今後は、防潮堤などの海岸保全施設の整備に合わせ、砂丘のかさ上げや新設を優先するとともに、砂丘背後の森林造成に取り組んでまいります。

なお、砂丘の整備等に必要な土砂は、建設発生土の有効利用により確保してまいります。

## 千代田バイパスの整備

実川議員 空港とともに生きる芝山町にとって、空港の拠点性向上を地域の活性化につなげていくことが必要であり、改めて空港とバイパス整備は、道路ネットワークの強化に寄与する非常に重要な道路と認識しています。県道成田松尾線の千代田バイパスについて、整備状況はどうか。

県土整備部長 千代田バイパスは、圏央道の一部として機能する松尾横芝インターチェンジと成田空港とを連絡し、アクセス向上や物流機能の強化を図るため、2.5キロの整備を進めているところであります。

先ずるとともに、砂丘背後の森林造成に取り組んでまいります。

県民の安全安心を確保するため、津波に対する減災効果の高い海岸県有保安林を早急に整備するよう要望します。



実川県議の質問を聞く傍聴席の皆さん